

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—201611

⑬ Int. Cl.³
B 29 C 27/00

識別記号

庁内整理番号
7722—4F

⑭ 公開 昭和58年(1983)11月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ 素材の貼合わせ装置

⑯ 発明者 斯波義文

調布市調布ヶ丘2丁目3番地1号

⑰ 特 願 昭57—85486

⑱ 出 願 昭57(1982)5月19日

⑲ 発明者 中村 晃

川崎市高津区向ヶ丘1496番地1号B棟503号室

⑳ 出 願 人 東洋食品機械株式会社

横浜市鶴見区矢向6丁目20番17号

㉑ 代 理 人 弁理士 石戸元

明 細 書

1. 発明の名称

素材の貼合わせ装置

2. 特許請求の範囲

互いに貼り合わせる第1及び第2の素材の原反を夫々支持する繰出軸と、これらの繰出軸の少くとも1つに設けた可変ブレーキ力のブレーキと、これらの素材を互いに平行に重ね合わせて送る駆動と、上記第1及び第2の素材のマークを夫々検出する検出器と、これら検出器の出力信号を入力し、これらの素材のマークの相対距離を測定して各マークが一致するように上記可変ブレーキ力のブレーキを調節する装置とよりなる素材の貼合わせ装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、シーラントラベル設置すなわち封緘機に送る袋素材とラベル等の印刷物を有してこれらの印刷柄が合うように所定の相対位置で互いに重ねて貼り合わせる素材の貼り合わせ装置に関する。

近年、食パン等の包装袋においては、品名、物品説明、原料因等印刷した袋に同様のものを印刷したラベルを貼り合わせたものが使用されている。

而してその包装袋を製造するには上記印刷を一列に有するベルト状の細長い袋素材とラベル素材の原反を夫々繰出軸により支持し、両者の印刷柄は人手により繰出軸のブレーキを調節することにより合わせていたが、これでは調節に時間を要するので、多くの素材が無駄になると共に素材の送り速度を40mm/分以上に速くすることはできず、生産速度が遅かった。

本発明はかかる同素材の印刷柄すなわちマークの合わせを自動的に行うようにしたものである。

なお、本発明は袋素材とラベル素材のみならず、他の素材の貼り合わせにも適用でき、また2枚の素材のみならず3枚以上の素材の貼り合わせにも適用しうことは勿論である。

以下図面につき本発明の一実施例を詳細に説明する。

特開昭58-201611(3)

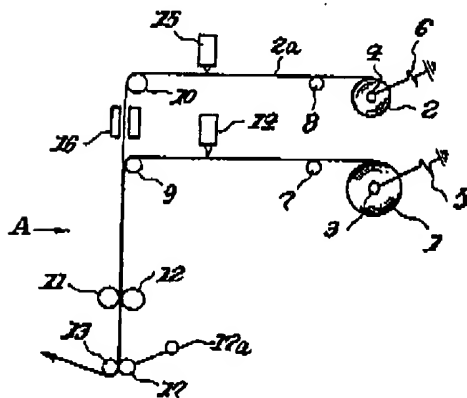
ように制御される。なおこの際素材2の繰出量は素材1の繰出量より減少するが、この減少分は素材2のヒータ16にある部分が伸縮することにより吸収されるものである。

以上のように本発明によれば、素材のマークすなわち印刷柄を自動的に合わせているので、その誤差を迅速に行うことができ、素材の無駄が少いと共に素材の送り速度を180秒/分程度に上げることができ、その生産速度を従来の3倍以上に速くすることができるものである。

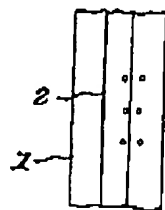
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の概略を示す説明図、第2図は第1図A部よりみた素材の側面図、第3図はコンピュータのブロック図、第4図は各信号のグラフ、第5、6図はコンピュータのフローチャート、第7図はブレーキに作用する電圧とそれに流れる電流とその電圧によるブレーキのトルク
①グラフである、
1, 2……第1, 第2の素材、3, 4……繰出軸、6……ブレーキ、14, 15……検出器、a, b……出力信号、20……制御装置。

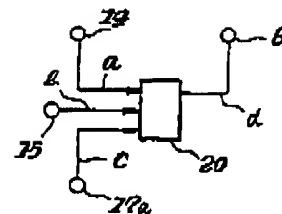
第1図



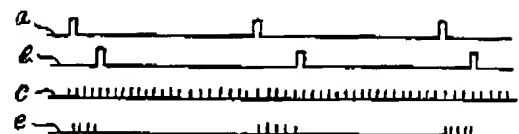
第2図



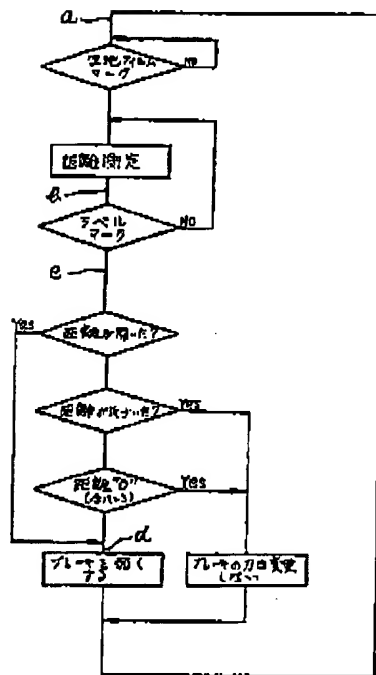
第3図



第4図

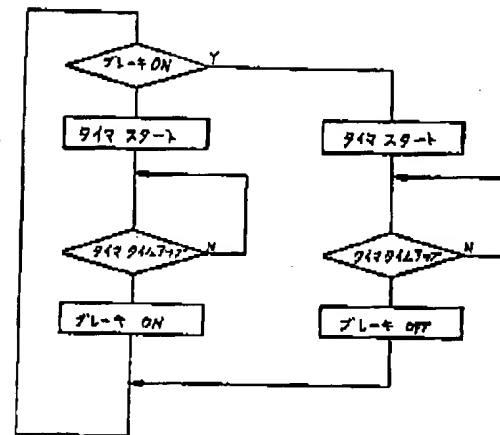


第5図



特開2005-201611 (4)

第6図



第7図

